

解せしめ、同時に右翼團體聯合の創立に當つて幾多の組合を参加せしめることが困難であるため、偏に組合會議の成立を妨害し不成立に終らしめる陰謀なのである。そしてこの不成立は、彼等右翼要切幹部の陰謀は、かくその所期の目的を達し、成功を謀り得、彼等の企劃通りの目標に向つて進みつゝあることを現すのである。

吾等は斯る右翼總聯合計劃に斷乎として反對するものである。何故ならば、それは全く我國現下の社會情勢の現實を認めざることであり、且また勞農大衆の現實の要求と希望とを代表し、信賴されて闘争する大衆團體として採るべき態度では斷じてないからである。支那階級は勞農大衆の闘争を薄弱ならしめ、鮮先を轉じさせるために、凡ゆる手段を策して不斷に分裂の魔手を延ばして居る。右翼團體聯合の成立は、結局に於いて支那階級の策する分裂政策の良に陥ることを意味し、資本家及地主階級の實質を博する以外何物でもあり得ない。のみならず勞農大衆の要求と希望とを棄切る。それこそ正に勞農大衆の嘲笑と憤慨を買ふところの非階級的行動と云はざるを得ないのである。

全國組合會議結成準備會の申合せを、單なるその溢限りの決議に終らしめることは、階級的忠誠を誓へる大衆團體としてなすべき

ことでないことを確信する。されば吾等は六月十日の申合せを履行するために、今後益々彼等團體と協力し、全國勞農團體の共同戦線たる全國組合會議結成のために、より一層の努力することを啓明するものである。

大正十五年八月三十日

日本労働組合評議會

第三回中央委員會

×
 × × × × ×
 × × × × ×